

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		人工知能学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名		IoT検定対策授業		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	前期	教室名	303教室
担 当 教 員		塩路昌宏	実務経験と その関連資格	IoT植物栽培システム開発、センサネットワークシステム開発、Node-RED MCU書籍出版 第2種情報処理技術者(1990)			
《授業科目における学習内容》							
IoT技術が注目され、これを取扱う人材が渴望される近年において幅広いIoT技術に関する知識を保持していることを証明するため、IoT検定のプロフェッショナル・コーディネータ試験合格、パワー・ユーザ試験グレードC突破を目指す							
《成績評価の方法と基準》							
試験 70% 出席 20% 平常 10%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
IoTの全てを網羅した決定版 IoTの教科書 問題を解いて実力をチェック IoTの問題集							
《授業外における学習方法》							
教科書や演習問題の解説をよく読み、不明な点は参考図書などで補うこと							
《履修に当たっての留意点》							
8月のIoT検定受験をターゲットに、自ら受験計画を立てて勉学に励むこと							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	IoT検定に対する理解を深め、現状の実力を把握する		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、IoT試験の構成と対応範囲 初回模擬試験(問題量50%)				
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	各自初回模試(8分野)成績の傾向を把握し重点対策分野を確認		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
		各コマにおける授業予定	初回模試の結果を見て各自の重点分野の把握、問題部分の学習 自己学習プランの検討				
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
		各コマにおける授業予定	1. 戦略とマネジメント(1) 2. 産業システム(1)				
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
		各コマにおける授業予定	3. 法律(1) 4. ネットワーク(1)				
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる		図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと	
		各コマにおける授業予定	5. デバイス(1)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	6. プラットフォーム(1) 7. データ分析(1)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	8. セキュリティ(1)		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業日程の中間で現状の実力を把握して対策を検討	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	中間模擬試験(問題量50%)、問題内容の学習 自己学習プランの検討		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	1. 戦略とマネジメント(2) 2. 産業システム(2)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	3. 法律(2) 4. ネットワーク(2)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	5. デバイス(2)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	6. プラットフォーム(2) 7. データ分析(2)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	各分野の用語や技術について理解し説明できる	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	8. セキュリティ(2)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	最終模試	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	最終模試(問題量100%、実時間60分での模試、回答チェック)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	IoT試験本番に向けての総まとめ	図書一式	使用教材及び参考図書をよく読むこと
		各コマにおける授業予定	最終模試の回答チェックと検定回答テクニックの最終確認		